事業者アンケート結果概観

本市では、令和7年度における第2次米子市環境基本計画の改定のため、令和6年度12月に事業者を対象としたアンケート結果を行った。下記にてアンケート結果の概観をまとめる。

1. 環境意識の変化

「法的義務や社会貢献」よりも「自主的かつ身近な取組」を重視する傾向が強まった。環境保護を意識し、節電、節水、リサイクルなどの日常的な取り組みが増加している点が特徴的である。

2. 環境保全活動の具体的な内容と今後の活動

令和元年度と比べて「まちなみの整備・保全、街の美化」「廃棄物の適正な処理に関する取組」「不法投棄対策の推進」等に対する関心が大きく減少し、「湾岸環境の保全」「地下水の安全」「エコカーの普及に関する取組」等が増加した。身近に取り組めるものが定着したことで重点的に取り扱う施策が移行している傾向にあることがうかがえる。

3. 環境改善に対する重点施策の変化

「まちなみの整備・保全、街の美化」「廃棄物の適正な処理に関する取組」「不法投棄対策の推進」等に対する関心が大きく減少し、「湾岸環境の保全」「地下水の安全」「エコカーの普及に関する取組」等が増加した。身近に取り組めるものが定着したことで重点的に取り扱う施策が移行している傾向にある。

4. 費用負担と経営課題のジレンマ

地球温暖化防止や環境保全のための費用負担を避ける傾向が見られた。環境問題と経営課題を並行して解決することの難しさが見受けられる。

5. 全般

このアンケート結果から、米子市の企業は環境保護活動に対して確実に関心を高めていることがわかった。また、環境への意識もより身近で実践的な部分にシフトしつつあり、企業活動と環境保護を両立させるための戦略や、費用面での負担軽減策が重要な課題となりうる。